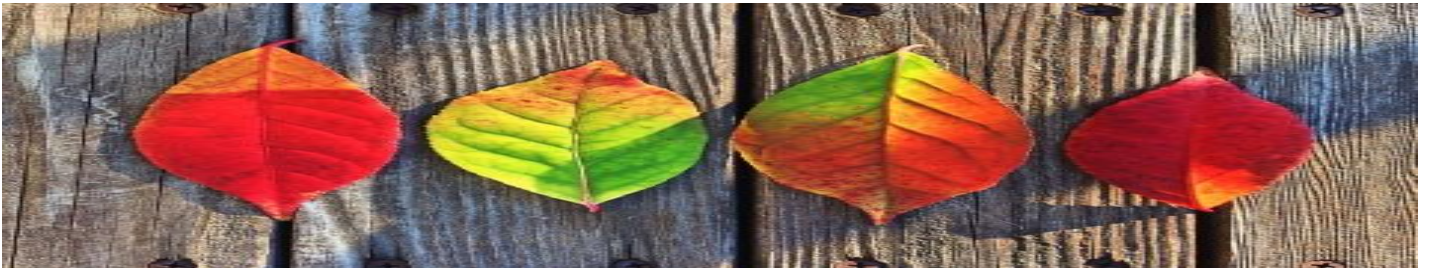


こころに吹く風は…<カウンセリングルーム便り>



台風が多く発生した夏でした。世界では紛争や災害が発生し、絶えず、胸の痛む情報が届けられました。浅間台幼稚園の子どもたちの笑顔と元気な姿にほんと胸をなでおろし、大きく救われた夏でした。

2学期がスタートしました。まだまだ暑い日々は続いていくのでしょうか。まずは大人たちも明るく元気に声を掛け合って楽しく笑っていききたいものですね。

天使のパンツ

天使のパンツがおっこちた

なにしろその日の夕ぐれは

まるで真っ赤な夕焼けで

赤い花びらちるように

天使のパンツがおっこちた

やなせ たかし

風にふかれておっこちた

南の海へおっこちた

いまでは南のその海で

人魚がパンツをはいている

天使のパンツがおっこちた * (大人も子どもも笑顔になれましたか?)

親が笑うほど、頭のいい子に育つ 高濱 正伸

Q 子どもにはなるべく笑顔で接したいと思っているのですが、親の笑顔が子どもの「頭の良さ」にも関係するのですか？

Q 「愛されている実感…親が笑うほど、子どもに愛情が伝わるということでしょうか？」

Q なるほど～。子どもの自己肯定感を高めることが大事なんですね。

A 子どもにとってお父さんやお母さんの笑顔は「愛されているという実感」につながります。そこに子どもが伸びる秘訣があるのです。

A 親が笑っていれば、それだけで子どもは安心して愛されていると感じます。その実感こそが子どもの自己肯定感を高め、やる気や自信、生きていくために必要な力を伸ばすんです。

A その通りです。自己肯定感が低く、自信のない子は、新しいことやむずかしいことになかなか挑戦できません。「優秀な母であるよりも、笑っている母であることが大事です。」

★ カウンセリングルームをどうぞお気軽にご予約ください。悩むときも、悩まない時も語り合いましょう。
★ 笑顔を絶やさず、笑っている 母 でいたいですね。 (毎週木曜日・予約可能時間 9:00～16:00)